

**第1節 地形**

本市は、大阪湾の東岸に位置し、大阪市を中心とするいわゆる大阪大都市圏の南部にあり、北側は岸和田市、南側は泉佐野市及び熊取町、東側は和泉山脈を境として和歌山県とそれぞれ接している。

本市の面積は43.98 km<sup>2</sup>で、大阪府の面積1894.31 km<sup>2</sup>の約2.3%となり、臨海部、内陸平坦部、丘陵部、山間部と多様な地形からなる。

**1 山地**

本市東部には標高400m～800mの山間地が和泉葛城山系へと連なり、この和泉葛城山系は和歌山県との県境となる和泉山脈に属している。

**2 河川**

本市を流れる主な河川は北から順に、津田川、近木川、見出川があり、3河川とも和泉葛城山系に源を発し、東西方向に長い本市を東側の山麓から縦断するように、内陸平坦部の市街地エリアを経て、西側の大阪湾へ注いでいる。

**3 池・沼**

池・沼は、本市に約130箇所散在しており、多くは田畑の灌漑用及び養魚用として利用されている。

**4 平野**

本市は河川の堆積によって形成された大阪平野の一部である和泉平野上にあり、概して低地帯である。

**5 海岸**

本市の西側が大阪湾に面しており、埋立てによる人工島及び府下唯一の自然海岸である「二色の浜」を有している。

また、大阪湾は湾口が南を向いているため、台風が通過すると高潮が発生しやすい。

## 第2節 気候

本市の気候は、瀬戸内式気候区に属する穏やかな気候で、年間平均気温は16℃前後、年間降水量は1200mm前後で、時期的には、4月下旬を中心とする春雨期、6月下旬を中心とする梅雨期、台風期を含む秋雨期に集中する。

## 第3節 人口分布

### 1 常住人口

本市の人口(平成17年国勢調査)は89,929人で、貝塚市の人口を年齢別にみると年少人口(15歳未満)は16.8%、生産年齢人口(15~64歳)は65.4%、高齢人口(65歳以上)は17.8%となっている。

### 2 昼間人口

平成12年の貝塚市の昼間人口は78,318人となっている。通勤、通学などで他市区町村への流出する人口は24,980人で、そのうち近隣市町の岸和田市、泉佐野市、堺市及び大阪市への流出の割合が全体の71.7%と高くなっている。

また、通勤、通学などで他市区町村から流入する人口は15,128人で、そのうち近隣市町の岸和田市、泉佐野市、熊取町からの流入の割合が全体の55.8%と高くなっている。

### 3 外国人登録者数

本市の外国人登録者数(平成17年12月末現在)は566人となっている。これを国籍(出身地)別にみると、最も多いのは韓国・朝鮮で、348人(61.5%)、次いで中国の108人(19.0%)、フィリピンの28人(4.9%)、ベトナムの21人(3.7%)、ブラジルの12人(2.1%)などとなっている。

## 第4節 道路の位置等

本市内の主要道路を概観すると基本的に南北及び東西に形成されている。

### 1 主な自動車専用道路

臨海部には阪神高速湾岸線、また山間部には阪和自動車道がいずれも市域を南北に横断している。

### 2 主な一般道路

臨海部には府道大阪臨海線、市街地には国道26号、同170号及び府道堺阪南線が市域を南北に横断している。また、東西には府道岸和田牛滝山貝塚線、和歌山貝塚線が臨海部から山間部へと延びている。

### 3 自動車保有台数

平成16年3月末現在、貝塚市内で約47,861台の自動車が保有されており、その内訳は、貨物用自動車3,130台、乗合用自動車82台、乗用自動車43,199台、特殊用途車856台、二輪車594台である。(自動車検査登録協力会、全国軽自動車協会連合会調べ)

## 第5節 鉄道、港湾の位置等

### 1 鉄道

本市にはJR阪和線、南海本線、水間鉄道の3つの鉄道があり、JR阪和線、南海本線は、市域の南北を横断しており、都心部への輸送を担っている。また、水間鉄道は東西に路線を巡らし、主として市域内輸送を担っている。

### 2 港湾

本市には、大阪府の管理する重要港湾の阪南港、地方港湾の二色港の2港がある。